

- 柱に金具Bをねじ止めて下さい。
 - 金具Bに金具Aを下から差し込んで下さい。
 - 金具Aの上部にボルトを入れ脱落しないように締め付けて下さい。
 - 本体を上から差し込んで下さい。
 - 3同様に上部にボルトを入れて締め付けて下さい。
 - 落下防止用のワイヤーを柱にねじなどで固定して下さい。
 - 取付完了
- ### 梁への取付

写真のように梁に取り付けることもできます。
- ### H鋼への取付

金具Cを写真のようにH鋼に取り付け2本のボルトをスパナで締めて下さい。

木柱への取付と同様に2～8の手順でH鋼へ取り付けて下さい。

斜めに走るH鋼に取り付ける場合は金具Dを使って上のように取付けて下さい。
- ### 円柱への取付

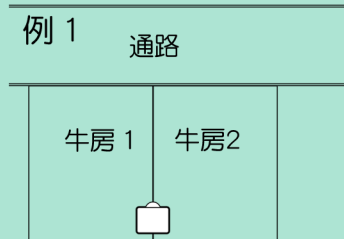
金具Bに写真のようにステンレスボルトを通して金具で固定して下さい。

木柱への取付と同様に2～8の手順で円柱へ取り付けて下さい。

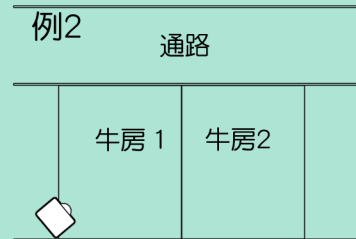
取付例

カメラは出来るだけ窓側に設置して下さい。窓に向かって設置すると逆光になり見えにくい場合があります。

通路側に取り付ける場合は作業車が通った時にぶつからない位置に取り付けて下さい。



外側（窓側）
 牛房1と2を均等に観察することが出来、死角もほとんど発生しません。

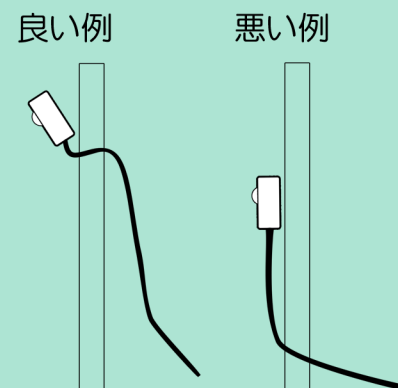


外側（窓側）
 牛房1の牛が良く見えます。牛房の仕切りの構造や材質により牛房2のカメラに近い側が死角になる事があります。



外側（窓側）

梁にカメラを取り付けて下さい。例2と同じように牛房の仕切りの構造や材質によっては牛房1と3のカメラに近い側が死角が生じる事があります。



良い例
 カメラと電源コードは牛が届かない高さ位置に設置して下さい。

悪い例
 カメラはやや下に向けて真下に死角が生じないように取り付けて下さい。

本体と付属品



- 本体付属品がそろっていることを確認して下さい。
- 金具Bは木の柱などに取り付ける場合に使用します。

オプション

金具C

- 金具CはH鋼に取り付ける場合に使用します。

金具D

- 金具Dは斜めになっているH鋼に取る付ける場合に使用します。

角度調整金具

- カメラを上下方向に角度調整できます。

注意事項

- 養牛カメラをしっかりした柱や梁に取り付けて下さい。
- AC100Vの電源が必要です。
- 取付前に通信テストを行い電波が届くことを確認して下さい。
- 雨が直接かからない場所に設置して下さい。
- 設置後、死角に牛が入ることがないかパソコンなどの画面で確認して下さい。
- 設置・移動の際には、カメラのレンズカバーの取り扱いに十分ご注意ください。レンズカバーに傷がつくと、映像が見えにくくなる場合があります。
- レンズカバーの掃除の際には柔らかい布等で傷つけないようにして下さい。

